

## 甲賀市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 ■放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

### ■ 目指す姿

未来を担う子どもたちの成長を支え、「社会に開かれた教育課程」を実現するために、学校運営協議会と連携・一体的推進を行い、社会総がかりで教育を行う「地域学校協働本部」を設置する。

地域学校協働活動には、地域住民が学校教育に積極的に参画し子どもたちの教育を充実させるという「地域から学校へ」というベクトルと子どもたちが自主的に地域に出ていき地域事業に参画することで、地域の担い手として育っていくという「学校から地域へ」というベクトルの2つの側面が考えられる。この2つのベクトルをうまく機能させることで、「学校を核とした地域づくり」を推進する。

### ■ 本年度の具体的活動

昨年度より各校の学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進のために、教育委員会社会教育スポーツ課に社会教育統括指導員と市内5公民館の館長を社会教育指導員として配置した。統括は学校教育課との連絡調整を行うとともに、社会教育指導員として、各校への伴走支援を行っている。

県下先進地の実践に学ぶため、県 CS アドバイザーを講師に招いた研修会を開催した。次年度の新規の推進員予定者について地域学校協働活動の基本についての研修会を行う予定。

また、コミュニティ・スクールにかかる管理職研修と運営協議会委員および地域学校協働本部関係者の合同研修会を行った。

事例研究の後、学校規模や地域の状況の差異が大きいため中学校区単位で情報交換を行った。

10月30日(木) 県 CS アドバイザーによる推進員研修会

11月14日(金) 学校運営協議会、地域学校協働本部合同研修会および情報交換会

3月 新規推進員予定者研修会



【 県 CS アドバイザーを招いて 】



【 地域別グループ協議 】

### ■ 本年度の力点

縦割りで学校運営協議会と地域学校協働本部の連携が十分取れていなかったが、統括指導員が橋渡しをすることで、風通しがよくなった。各公民館に配置された社会教育指導員(公民館長)がエリア内の学校との連携を図り、情報提供するとともに、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の立ち上げや推進を伴走支援する体制を構築する。

### ■ 課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

学校再編の動きの中、学校運営協議会や地域学校協働本部のあり方が検討課題。

地域学校協働活動を「学校を核とした地域づくり」につなげるためには、まちづくり協議会(コミュニティセンター)や公民館とのかかわりが大きくなっていく。そのためにはコミュニティセンターやまちづくり協議会を担当する市民活動推進課との部局を超えた連携が不可欠。職員研修を始め、関係者の研修・講座の確立を模索する。

### ■ 地域学校協働活動推進員の委嘱状況

14校 22名(継続 15名、新規7名)

### ■ 域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

令和6年度 13校(小学校 12校、中学校1校)

令和7年度 24校(小学校 18校、中学校6校)

令和8年度 27校(小学校 21校、中学校6校) 全小中学校導入予定